

信

福田寺 だより

発行

神奈川県小田原市飯田岡二五七

住職 橋本尚信

二十世紀最後の年を振り返つて

本堂落慶十周年・本尊御開帳記念会

平成十二年五月七日・記念大法会無魔成満

激動の二十世紀が今幕を引こうとしています。百年という長さがどれ程長いかは、自分の一生と比較すれば解ることですが、お寺の歴史から見ると、幼稚園時代程度の長さです。

しかし、福田寺八百六十四年の歴史の中では、この百年が、とりわけ最後の十数年がもつ意味（価値）は計り知れないものがあると思います。

「真は莊嚴から」という諺がありま

すが、お寺の莊嚴の中心をなす本堂が、皆様のご協力で再建されてから目には見えないエネルギーが宿つているように感じられます。そのような感謝を込める意味もあって、本尊様の修復をし、落慶十周年的記念法会を修行したわけであります。お蔭さまで、五月七日は盛大に執り行うことができました。法会の主眼でありました、稚児行列にも五十人以上

の子供たちが参加してくれて、とても賑やかで華やかな行事にする事が出来ました。本山「東寺」や高野山からも、来賓を迎えることができ、近隣ご寺院の協力も仰ぎ、ご詠歌隊の参加も素晴らしく、なによりも檀信徒の多くの参列をいただき、無事に成満出来ましたことを、心よりお礼申し上げます。十年前の本堂建設に対するご寄付のご協力に加えて、今般またご協力いただきました事、重ねて感謝申し上げます。今般の寄付が未納の方は、十二月末日が期限ですのでよろしくお願ひ致します。尚、十周年を記念して、報告書を編纂する予定であります。お気付きのことがありましたら、ご連絡頂ければ有難く存じます。

寄付金不明者のご案内

5月23日に四万円をさがみ信金に振り込まれた方、無記名の為不明ですのでお申し出下さい。

二十一世紀を迎える心の準備

——人間嫌いが住みよい時代？——

二十世紀の終わりにしては、昨年の暮れ程世紀末についてあれこれと言わなきのは、コンピューターの2000年移行問題があつたからなのだろうと想像できる。そう思うと、人間の感性がベッタリと機械に汚染されているような気になつて、何とも淋しい思いがする。

今年の施餓鬼で、「お寺は最後の後まで、機械に汚染されない場所でありたい」と言ってから、どうも住職はコンピューター嫌いの時代遅れなおじさんと思われているのではないか。事実その手の類はあまり得意

ではない。しかし一般に通用する程度の知識と機械化導入はしているつもりである。

機械の利便性は大いに活用すべきであるし、それぞれの分野でより専門的な機械の進歩が開発されることは、人類の発展に不可欠であると思うし、研究者に対して頭が下がる。

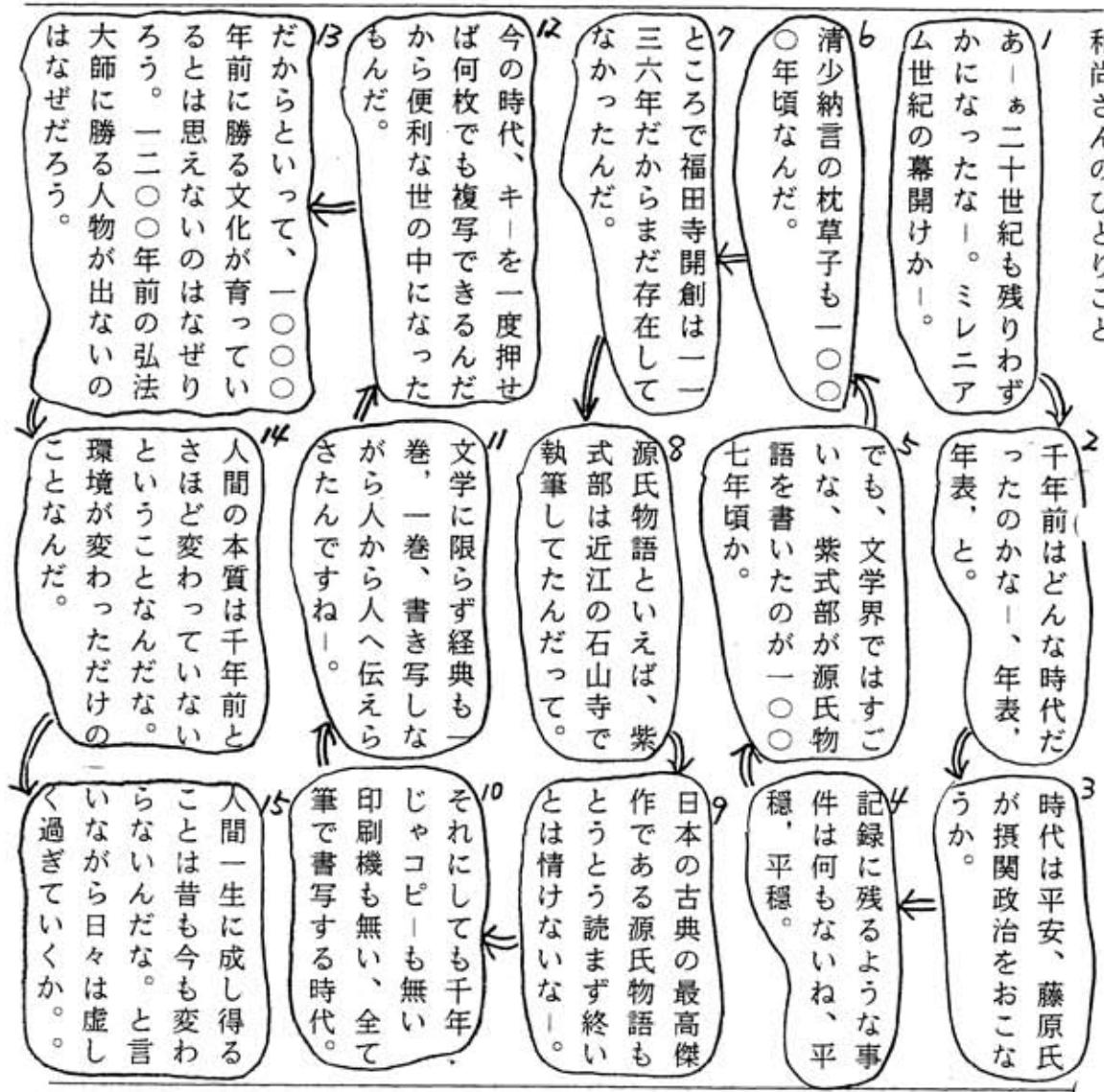
私が恐れているのは、機械に依存して人間性を見失ってしまうことなのです。その例として、パソコンでお墓参りの代行をすることをとり挙げました。あらゆる分野でこの手の類が進んでいるのは皆さんも肌で感

じてているのではないでしようか。品物の売り買いにしても通信販売大はやり、支払いにしても手数料を払っての自動振込、お金を借りるのもむじんくん、電話でのセルスにはほとほと手をやいていることでしょう。その他諸々・・・。

これらに共通することは、相手の姿が見えないことです。人に接しないで物事が進められることです。人間嫌いな人にとって、こんな都合の良い事はありません。確かに人と接する事は大変ですし苦手な人の方が圧倒的に多いと思います。だからといって、何でもかんでも人と対面することを避けていたらどうでしょうね。

私たち、人と接する事により人の痛みを知り、情けを知り、お互いの想いを知り、人間社会の歴史を築いてきました。何としても、対面社会に世の流れを戻さなければなりません。

和尚さんのひとりごと



涼木しい団 参旅行

去る、5月21日～23日に、大法会を記念して、団体参拝旅行を実施致しました。本山東寺では弘法市の賑わいにびっくりしながら、特別に天皇の玉座の間がある小子坊を拝観。高野山では、宿坊・金剛三昧院の天然記念木の石楠花が、例年なら散っている時期なのに、最後の花を咲かせて出迎えてくれました。奥の院の静寂な中にも、お下がりの饅頭をもらい御利益を頂いた気分で、伽藍参拝、お土産もしつかりと買いました奈良は、長谷寺の本尊掛け軸のご開帳に参拝、バラの靈山寺、普段あまり見れない奈良筆の伝統工芸制作実演を見学、金魚資料館、新築の朱雀門、興福寺南円堂では御詠歌齊唱、等々、有意義な旅でした。総勢二十三名でゆつたりと、楽しい団参旅行でした。今回参加出来なかつた方は、次回是非どうぞ。

新年厄除け薬師護摩供養

申し込み受付中

一月八日午後一時より修行

恒例の新年厄除け護摩を一月八日

午後一時より修行致します。護摩を
焚く修行は、近年いろいろな所でされていますが、正統に受け継がれて
いるのは密教寺院であります。福田寺は、京都・東寺を本山とする真言
密教の寺で、創建以来八百六十四年
、密教寺院としての歴史を刻んで参
りました。

男性	
前厄	昭和三十六年生まれ
本厄	昭和三十五年生まれ
後厄	昭和三十四年生まれ

平成十三年厄年

女性	
前厄	昭和四十五年生まれ
本厄	昭和四十四年生まれ
後厄	昭和四十三年生まれ

除夜の鐘とともに、本堂の扉
を開けておきます。
午前0時より一時まで、住職に
より新年の御祈禱が修法されま
す。二十一世紀幕開けの初詣に、
ご自由に参拝ください。

記
期日・・・一月八日、午後一時より
祈禱料・・三千円

祈禱内容・・厄難消除（厄よけ）
身体健全、病魔退散、家内安全、
交通安全、商売繁盛、業運繁榮、
学業成就、合格祈願、安産祈願、
子授け祈願、その他

申し込み・・一月七日まで、電話可
電話 0465(36)2755
FAX 0465(37)6688

古い護摩札やお守りなどは、
暮れのお参りの時に、本堂入り
口に用意された納め場所に納め
て下さい。特に大きなものは、寺の者に連絡
して下さい。

菖蒲の参り
お経を読む会
毎月十五日
夜七時半より一時間
参加費用 一人百円
通算、八十六回になりました。
次回は一月十五日です。どうぞ
お気軽に参加下さい。